

-Monthly News Letter-



BEIJING

TOKYO

SHANGHAI

DELHI

GUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

# What's on **today?**



- March 2013 No.42 -

TOKYO

BEIJING

SHANGHAI

GHUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

DELHI

# What's on today?

-Monthly News Letter-

- March 2013 No.42 -

## 2020年夏季オリンピック候補地視察



2020年五輪・パラリンピック招致に立候補している東京を、4日から7日まで、国際オリンピック委員会(IOC)評価委員会が視察しました。

クレイグ・リーディー評価委員長(IOC副会長)らIOC委員6人、財政、環境などの専門家ら計14人の視察団が、安倍首相から澤穂希選手までの幅広いプレゼンター(説明者)から話を聞き、会場予定地を訪れました。リーディー委員長は離日前の記者会見で、「非常に感銘を受けた」という表現で、東京の組織力と開催能力を評価しました。

前回2016年東京招致の評価委員会視察時と比べて、今回は、スポーツ選手が前面に出て活躍したこと、首相、都知事などが積極的に参加し、国や東京都の強い支援を印象づけた点が大きく違っていました。

例えば、ロンドン五輪で活躍した現役のスポーツ選手が数多く協力し、「プレゼンテーション」と呼ばれる計画概要の説明を部分的に担ったり、会場視察での案内役を務めていました。多くが英語でスピーチを行い、澤穂希選手は「(ロンドン五輪決勝)ウェンブリー・スタジアムに立つ方がいい」と緊張ぶりを振り返り、フェンシングの太田雄貴選手は「紙がぱろぼろになるまで練習した」と話していました。

安倍首相がアカペラで1964年東京五輪時の歌を披露したり、猪瀬都知事がパラリンピック・テニス男子シングルス連覇の国枝慎吾選手とテニスをしたりする演出もありました。指導者のスポーツや五輪への情熱を強調しながら、日本が国を挙げて真剣に招致を望んでいると伝えることに主眼を置いていました。

視察期間中、IOC評価委側から東京招致委に、IOCが実施した支持率調査の結果が伝えられ、2020年の五輪開催に賛成する人は、東京都で70%、日本全国で67%だったことも明らかになりました。IOC調査ではこれまで、2016年招致時で56%、昨年の2020年招致第1次審査時には47%という低い数字で、いかに人々の理解と支持率を伸ばすかが問われてきただけに、東京招致の大きな課題の一つがクリアされた形となりました。



2020年招致レースでの東京の最大のライバルはイスタンブール(トルコ)。「欧州とアジアをまたぐ五輪」、「イスラム圏初の五輪」など、IOCが魅力を感じやすい、新たな地域での五輪開催と理念の普及を、最大のテーマとしています。

東京は、IOCが魅力を感じてくれるような、東京開催の理由付けを、打ち出していく必要があります。評価委への対応で見られたように、国、都、スポーツ界と、日本の持つ力を結集して臨めるかどうかが問われています。

評価委員会は27日、最後の訪問地イスタンブールの視察を終えました。記者会見したリーディー委員長は東京、マドリードとの比較についてのコメントを避け、「それぞれを比べることはわれわれの仕事ではない。目的はIOC委員への情報提供」と話しました。

IOC委員でもあるトルコ・オリンピック委員会のエルデネル会長は「トルコ中が初めての五輪開催に近づいたと感じているはずだ」と手応えを強調していました。

調査は各都市とも4日間。立候補ファイル(開催計画書)にある14テーマのプレゼンテーションと質疑応答、会場や会場予定地での視察をおこないました。

評価委は、IOC委員が開催都市を決める際の判断材料になる評価報告書を作成。7月3日に各都市がスイスのローザンヌでIOC委員に向けたプレゼンテーションを行い、9月7日のIOC総会(ブエノスアイレス)で開催都市が決まります。

## 5代目歌舞伎座新開場記念パレード



2月26日に竣工し、4月2日に柿落し公演を迎えた新しい歌舞伎座（東京都中央区銀座）の新開場を記念して、中村時蔵（57）や市川染五郎（40）市川海老蔵（35）ら歌舞伎俳優63人が3月27日、東京・銀座の街を彩るパレードに参加しました。

この日はあいにくの雨となりましたが、一行は百貨店やブランド店が立ち並ぶ銀座1丁目から4丁目まで約400メートルを紋付き袴姿で練り歩き、沿道からは拍手と「成田屋」「音羽屋」の掛け声が飛び交った。集まった観衆は3万2000人。銀座でここまで大規模な「お練り」が行われることは異例で、4月2日から始まるかけら落とし公演に向け、歌舞伎界が盛り上がりを見せています。



## 2013年3月16日、渋谷を起点に5つの路線がつながりました



「東急東横線 渋谷駅舎」が3月16日に東京メトロ・副都心線との相互直通運転が開始され85年にわたり親しまれた地上部の駅はその役割を終えました。

その東急東横線 渋谷駅跡が期間限定の巨大イベントスペースに！「SHIBUYA ekiato（エキアト）」としてオープン。半世紀にわたり親しまれた「クラム屋根」はそのままに、ホーム内の線路箇所は床上げ処理をし、フラットで広大なイベントスペースが、3月26日（火）～5月6日（月・祝）の期間限定でオープンします。



3月16日（土）から、副都心線と東急東横線・横浜高速みなとみらい線の相互直通運転が開始されました。この相互直通運転開始により副都心線を中心として、東武東上線、西武池袋線、東急東横線、横浜高速みなとみらい線がつながり、広域的な鉄道ネットワークが形成され通勤・通学や買い物・観光などがさらに便利になりました。

副都心線のほぼすべての列車が東横線・みなとみらい線と直通運転するほか、副都心線内を急行、東横線・みなとみらい線内を特急とする速達列車を日中時間帯に15分間隔で運行し、乗り換えなしで横浜駅から新宿三丁目駅までを最短32分で結び、横浜エリアから副都心（渋谷・新宿・池袋）エリアへの利便性が大幅に向上しました。



3月28日から4月7日までユニクロが、「UT」の期間限定ショップ「UT POP-UP! TYO」を出店します。約660平方メートルの敷地に、1,000種類以上、12,000枚のTシャツを展示・販売するという限定ショップを開設します。

TOKYO

BEIJING

SHANGHAI

GHUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

DELHI

# What's on today?

-Monthly News Letter-

- March 2013 No.42 -

## T-LIVE BKK SHOOTING IN MARCH 2013



2013年3月タイは祝祭日がありません。。。

今年に入り早2ヶ月が過ぎましたが、2013年で祝祭日のない最初の月が「3月」です。2013年は3月、6月、9月、11月が祝祭日による国民の休日がない月です。働くタイ人にとってはハードな1ヶ月になりそうですが、4月のソンクラーン（旧正月）に向けてここは一踏ん張りです！

### ① 第一三共 「ハイブリッドビジネスモデル」

【期間】 3月7日(木)～9日(土)

【取材地】 バンコク

第一三共では、多様化する医療ニーズに応えていくため「ハイブリッドビジネスモデル」を推進しています。価値ある新薬をスピード的に開発し、成長著しい新興国を含む複数の市場でのビジネスを開拓する「イノベーティブ医薬品事業」。多様な医療ニーズに応える医薬品提供の一環としてジェネリック医薬品などを提供していく「エスタブリッシュト医薬品事業」。インフルエンザなどの感染症に対するワクチンを提供していく「ワクチン事業」。『ガスター10』や『ルル』などでもおなじみの薬局・薬店で販売される薬の提供や、機能性食品、スキンケア領域なども加えた製品を提供していく「OTC／ヘルスケア事業」。この4つの事業を開拓しています。

さらには2008年にグループ会社化したインドのランバクシー社と連携し、グローバルな研究開発を展開しつつ、世界各国への流通網を最大限に活かしてインドやアフリカ、メキシコ、ルーマニアなどワールドワイドに事業を開拓するなど、革新的なビジネスモデルで、「Global Pharma Innovator」の実現を目指しています。

そして、2013年4月より第一三共タイにランバクシーの事業を統合する形で、ハイブリッドビジネスモデルを実践することになりました。タイでも医薬品のニーズは高く、今後さらに拡大していくことが予想されます。2011年の医薬品市場は2,700億円で、世界32番目の規模。特にASEAN地域ではインドネシアに次いで2番目に大きく、さらに市場成長率は1.3%。医療ニーズも大きくなっている地域です。

その中でも、売上の内3割～5割程度をジェネリック医薬品が占めており、新薬とジェネリック薬を両輪とするハイブリッドビジネスの展開はタイにおいて大きな意味を持つことになります。そして、タイに来てランバクシーと事業を統合して一新した、第一三共タイの今後の展望についてインタビューをしました。



■ インタビューする風景 1



■ インタビューする風景 2



■ インタビューする風景 3

## T-LIVE BKK SHOOTING IN MARCH 2013

### ② 東レ「タイ事業50周年」

【開催期間】3月20日(水)

【開催地】プラザ アテネ バンコク ロイヤルメリディアン ホテル（バンコク）



東レ株式会社(本社:東京都中央区、以下「東レ」)のタイ王国における事業が、50周年を迎えました。

3月20日に、首都バンコク、プラザアテネバンコク ロイヤルメリディアンホテルにおいて記念式典および記念展示会を開催いたしました。式典では、スラユット枢密院議員、キティラット副首相、佐藤在タイ日本大使をはじめとするご来賓の方々を会長、社長らがお迎えし、これまでの事業展開への感謝を伝えるとともに、今後の事業拡大および同国への貢献について述べました。来場者数は約1,000名となりました。

タイにおいて東レは、グループ初の本格的海外生産拠点として、1963年にポリエステル/レーヨン(T/R)混織物のThai Toray Textile Mills(TTTM)を設立しました。現在、ポリエステル/綿(T/C)紡績・織布・染色、ポリエステル長纖維の織布・染色、エアバッグ用織物を手掛けるLuckytex (Thailand) (LTX)や、ナイロン・ポリエステル長纖維、ナイロン・PBT樹脂コンパウンド、ポリプロピレンフィルム、蒸着フィルムを製造するThai Toray Synthetics (TTS)など、幅広い事業展開を行っています。2001年には商事会社Toray International (Thailand) (TITL)を、2002年にはタイ東レグループの事業統括会社Toray Industries (Thailand) (TTH)を設立し、ASEAN地域の中央に位置する、重要な輸出拠点としての事業を拡大してきました。

一方で、東レは1994年にタイ東レ科学振興財団(TTSF)を設立し、タイでの科学技術振興に貢献してきました。科学技術は国家の発展に必須であり、TTSFは自然科学分野における様々なプロジェクトへの支援、表彰を行ってきました。

東レグループは、2011年からスタートした中期経営課題“プロジェクトAP-G 2013”において、持続的に事業収益拡大を実現する企業グループへの転換を目指し、今後大きな経済成長が見込まれるアジアやその他地域の新興国の成長を取り込む「アジア・新興国事業拡大(AE)プロジェクト」に取り組んでいます。

中でも急速に発展するASEAN地域とタイと共に事業を拡大していきます。既存の繊維、フィルム、樹脂に加え、水処理、医薬・医療、炭素繊維複合材料などについても積極的に展開を進めます。



## EVENT IN MARCH OF THAILAND 2013

### ① The 34th Bangkok International Motor Show 2013

【開催期間】3月25日(月)～4月7日(日)

【開催地】インパクト・ムアントンタニ (バンコク)



3月25日、第34回バンコクモーターショーが開幕しました。会場はバンコク郊外の「インパクト・ムアントンタニ(IMPACT Muang Thong Thai)」です。今回のテーマは「Street of Automotive Fashion」です。

タイは日系メーカーの販売シェアが7割を超えるだけでなく、製造拠点も多数存在しており、販売・生産の両面において極めて重要地域です。今回のバンコクモーターショーでは、新型の小型車を中心に各メーカーが戦略モデルを数多く発表されました。注目は、三菱の小型セダン『コンセプトG4』やディーゼルハイブリッドの『コンセプトGR-HEV』、トヨタの新型『ヴィオス(VIOS)』や日産の『マーチ』のフェイスリフトなど自動車だけでなく、ホンダ、スズキ、ヤマハやカワサキなどのモーターサイクルに加えてカスタマイズやメインテナンス用品、カーAV機器メーカーなども出展しました。

他のモーターショーとは異なり、25日はVIPデーの扱いで、各メーカーのカンファレンスが行われるプレスデーは26日でした。一般公開日は3月27日から4月7日でした。



MITSUBISHI



TOYOTA



HONDA



NISSAN



MAZDA



ISUZU



BMW



MINI



MERCEDES BENZ

## EVENT IN MARCH OF THAILAND 2013

### ② 41th National Book Fair & 11th Bangkok International Book Fair 2013

【開催期間】 3月29日(金)～4月8日(月)

【開催地】 クイーンシリキット・ナショナル・コベンションセンター（バンコク）



タイの書籍や世界中から集まる国際的な書籍まで、本の愛好家には堪らないフェア「41th National Book Fair & 11th Bangkok International Book Fair 2013」が開催されました。イベントは11日間開催されました。



#### ■ 7 ゾーン

- ゾーン 1 General books , Foreign books
- ゾーン 2 General books
- ゾーン 3 General books , Old Books , Educational books , Children's Books
- ゾーン 4 General books
- ゾーン 5 General books , Stage for Opening
- ゾーン 6 General books , Exhibitions
- ゾーン 7 Comic , Teen books

#### ■ 目的

- ・ 子供から大人まで「読書」の大切さを感じてもらう。
- ・ 親や教師などが本を通じて、子供に教わる。
- ・ タイの本だけではなく、外国の本もある。「Open knowledge to the world」を体感。
- ・ 外国人にもタイの本を紹介する。
- ・ 「読書」に関連する会社にもお互いに協力してもらい、いい「本」を作っていく。



## DELHI

DELHI Saptam Film Prodtions India  
(Saptam International)  
Phone +91-11-32532503 Fax:+91-11-28741116

## BANGKOK



T-LIVE BANGKOK Co.,Ltd  
Phone +66-(0)2-716-8501 Fax +66-(0)2-716-8502

## SINGAPORE



CONCEPT 360° PTE LTD  
Phone +65-6887-5595 Fax +65-6887-5991

## TOKYO



T-LIVE Co.,Ltd  
Phone +81-3-3537-0234 Fax +81-3-3537-0236



SP-RING Co.,Ltd  
Phone +81-3-5543-2215 Fax +81-3-5543-2216

## BEIJING



SP-LIVE International BEIJING Co.,Ltd  
Phone +86-10-6409-7531 Fax +86-10-6409-7503

## SHANGHAI

SP-LIVE International SHANGHAI Co.,Ltd  
Phone +86-21-6472-5140 Fax +86-21-6472-5170

## GUANGZHOU

SP-LIVE International GUANGZHOU Co.,Ltd

## HO CHI MINH



AAB INC.  
Phone +84 838 181 391 Fax +84 838 181 392